

正負の数 2・加法と減法

1 加法 (その2)

(1/4) ■ 同符号の数の加法 ■

同符号の数の加法

★解法の技術★

次の計算をなさい。

(1) $(+4) + (+6)$

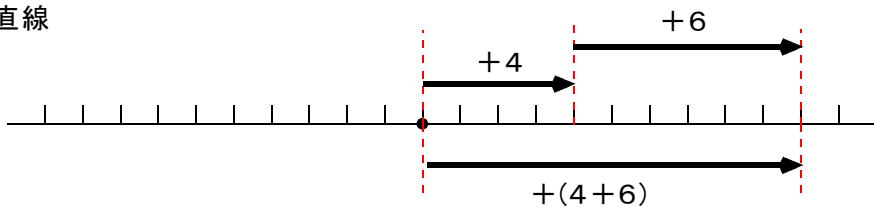
(2) $(-4) + (-6)$

【考え方】正負の数の加法の結果(和)を数直線で表してみます。

[答 案]

(1) $(+4) + (+6)$

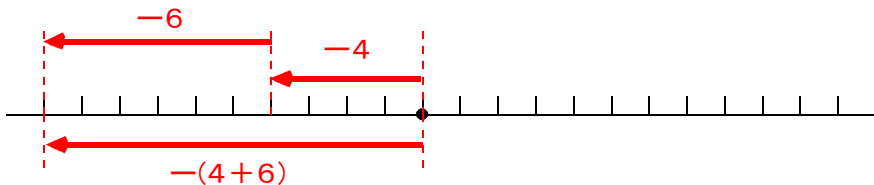
* 数直線



* (式) $(+4) + (+6) = +(4+6) = +10$

(2) $(-4) + (-6)$

* 数直線



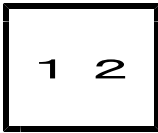
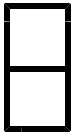
* (式) $(-4) + (-6) = -(4+6) = -10$

● 正負の数の加法 ●

2つの数の和を求めるには、

1 同符号の数のとき

共通の符号をつけ、絶対値の和を書く。



正負の数 2・加法と減法

1 加法 (その2)

(2 / 4) ■ 同符号の数の加法 ■

----- ★理解のチェック★ 《 C ・ B ・ A 》 -----

次の計算をしなさい。

(1) $(+2) + (+5)$

(2) $(-2) + (-5)$

----- 学力化 < / [], / [], / [] > -----

★

【考え方】数直線を使って和を求めます。

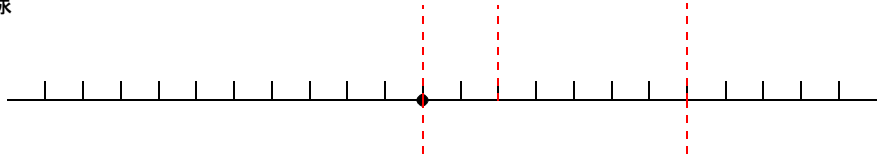
2つの数の和を求めるには、

1 同符号の数のとき、共通の符号をつけ、絶対値の和を書く。

[答 案]

(1) $(+2) + (+5)$

* 数直線



* (式) $(+2) + (+5)$

↓ 共通の符号をつけ、(絶対値の和を求める式)を書く

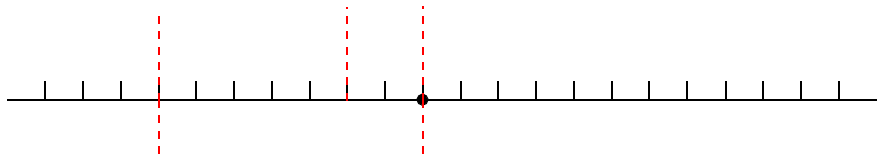
=

↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

=

(2) $(-2) + (-5)$

* 数直線



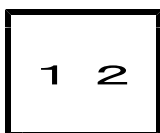
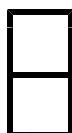
* (式) $(-2) + (-5)$

↓ 共通の符号をつけ、(絶対値の和を求める式)を書く

=

↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

=



正負の数 2・加法と減法

1 加法 (その2)

(3 / 4) ■ 同符号の数の加法 ■

◇《同符号の数の加法(数直線を使って)》

★演習★【1】《 C・B・A 》

次の計算をなさい。

(1) $(+8) + (+6)$

(2) $(-4) + (-9)$

(3) $(-7) + (-2)$

(4) $(+5) + (+5)$

学力化 < / [], / [], / [] >

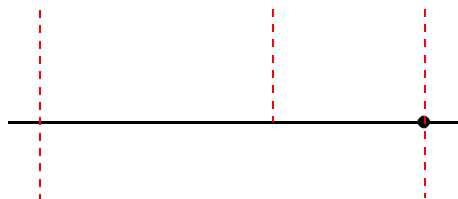
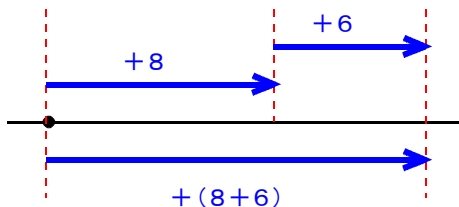


【考え方】(1)のように、数直線には目盛りを入れなくて、移動の方向と量だけを矢印で示して、2数の和を表しなさい。

[答 案]

(1) $(+8) + (+6)$

(2) $(-4) + (-9)$



(式) $(+8) + (+6)$

(式) $(-4) + (-9)$

↓ 共通の符号をつけ、(絶対値の和を求める式)を書く ↓

=

=

↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

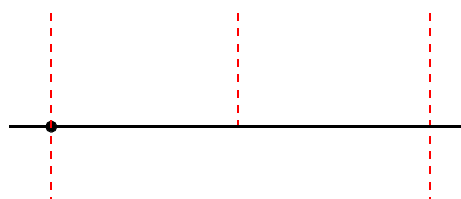
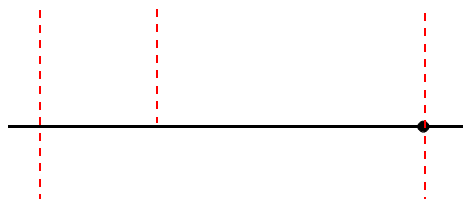
↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

=

=

(3) $(-7) + (-2)$

(4) $(+5) + (+5)$



(式) $(-7) + (-2)$

(式) $(+5) + (+5)$

↓ 共通の符号をつけ、(絶対値の和を求める式)を書く ↓

=

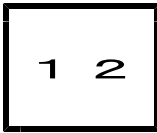
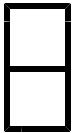
=

↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

=

=



正負の数 2・加法と減法

1 加法 (その2)

(4 / 4) ■ 同符号の数の加法 ■

◇《同符号の数の加法》

★演習★【2】《 C・B・A 》

次の計算をしなさい。

(1) $(+20) + (+15)$

(2) $(-35) + (-38)$

(3) $(-45) + (-45)$

(4) $(+62) + (+60)$

(5) $(-73) + (-80)$

(6) $(+123) + (+23)$

学力化 < / [], / [], / [] >



【考え方】2つの数の和を求めるには、

1 同符号の数のとき、共通の符号をつけ、絶対値の和を書く。

[答 案]

(1) $(+20) + (+15)$

(2) $(-35) + (-38)$

↓ 共通符号(絶対値の和を求める式)

↓ 共通符号(絶対値の和を求める式)

=

=

↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

=

=

(3) $(-45) + (-45)$

(4) $(+62) + (+60)$

↓ 共通符号(絶対値の和を求める式)

↓ 共通符号(絶対値の和を求める式)

=

=

↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

=

=

(5) $(-73) + (-80)$

(6) $(+123) + (+23)$

↓ 共通符号(絶対値の和を求める式)

↓ 共通符号(絶対値の和を求める式)

=

=

↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

↓ 共通の符号をつけ、絶対値の和を書く

=

=